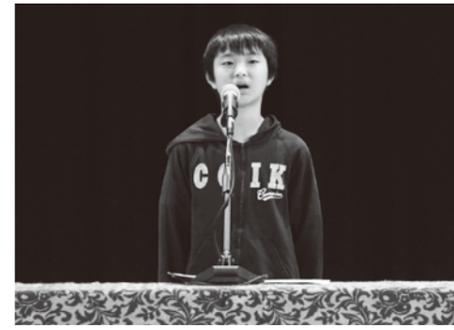


平成28年11月20日(日) 町立中央公民館にて

# 第18回宇美町少年・少女の主張大会「小学校の部」最優秀賞

小学校の部  
最優秀賞

## 「心をつなぐまほうの言葉」



宇美小学校 六年 松本 侑大さん

「おはようございます。ほくは、毎朝、ガードボランティアさんとあいさつをします。しかし、低学年のころは、自分からあいさつをすることができませんでした。ガードボランティアさん

んが、あいさつをしてくださっても、はずかしくてできなかったのです。ほくは、通りすぎるたびに、申しわけない気持ちになりました。そんなほくが、変わったのは、四年生の時です。きつかけをくれたのは、いつもあいさつをしてくださるガードボランティアさんでした。ある日、ガードボランティアさんが、「自分からあいさつをすると、気持ちがいいよ。」と教えてくれました。はじめは、本当なのかなと思いましたが、勇気を出して、「おはようございます。」と元気な声で言いました。すると、ガードボランティアさんも、「おはようございます。今日も、一日がんばってね。」と笑顔でかえしてくださいました。はずかしい気持ちもありましたが、それよりも、うれしい気持ちでいっぱいになりました。

た。それからは、毎日、自分から先に、あいさつができるようになりました。そのたびに、ガードボランティアさんが、いろいろな言葉をかけてくださいました。あいさつは、心をつなぐまほうの言葉ということが分かり、とてもすてきなと思いました。それからは、いつも笑顔で先にあいさつをすることができるようになりました。ほくが笑顔であいさつをすると、ガードボランティアさんや地いきの方も笑顔でかえしてくださいます。いつも気持ちがよくなります。自分から笑顔であいさつができるようになったら、本当によかったと感じています。

ていました。そこで、ほくが、「先にあいさつをしたら、気持ちがいいよ。」と教えると、一年生が「おはようございます。」とあいさつをしてくれました。ほくは、こんなふうに心がつながればいいなと思いました。そして、ほくが、「あいさつは、心をつなぐ、まほうの言葉だよ。」と教えてあげました。ほくたちの学校では、「あいさつは、進んで、笑顔で、元気がよく、立ちどまっておじぎをすれば名人だ」というめあてを立てて取り組んでいます。地いきの方々やガードボランティアさんには、いつもほくたちを見守っていただいています。その感謝の気持ちをこめて、心をつなぐあいさつを続けていきます。

町立こども療育センター



お子さんの成長で気になること、「すくすく」へ気軽にご相談ください。

## 個別療育（発達相談・療育訓練）について

こども療育センター「すくすく」では、発達にさまざまな課題のある子どもたちを対象に「個別療育」と「集団療育」を行っています。「個別療育（発達相談・療育訓練）」では、医師、臨床発達心理士、言語聴覚士、作業療法士など、多様な専門スタッフが協力して、一人ひとりのお子さんに合った発達相談・療育訓練を通して支援を行っています。

今回は、「個別療育（発達相談・療育訓練）」に関わる臨床発達心理士（CP）・言語聴覚士（ST）・作業療法士（OT）の支援内容をご紹介します。

### 臨床発達心理士の支援内容

お子さんの様子をお伺いし、必要に応じて発達検査を行います。こどもの特性や苦手なことを把握し、保護者の方に検査の結果と今後のアドバイスをいたします。保護者の方からの希望があれば、保育園、幼稚園、小学校とも連携して関わり方のアドバイスをしています。

#### 臨床発達心理士からひとこと

日々の子育ての中では、「ことばが遅い」「お友達と上手に遊べない」「動きが激しく落ち着きがない」「食べ物の好き嫌いが激しい」など、小さなことでも保護者の方を心配させることがたくさん起こります。また、こどもに何かがあると「わたしが甘やかすすぎてんじゃないかな」と思ったり、そうかと思うと「厳しすぎるんじゃないかな」と自分の子育てに自信がなくなることも多々あります。最近では、「発達障害」ということばが広く知れ渡るようになったこともあり、保護者の方がさらに不安になることも増えてきているように思います。心理相談では、さまざまなこどもの発達の状態や個性を保護者の方と一緒に把握し、健やかな成長を促していきます。そして、大変な子育ての中でも喜びや楽しさを見つけていくお手伝いをさせていただきます。発達のことだけでなく、子育てに悩まれている保護者の方、ぜひご相談ください。

### 言語聴覚士の支援内容

保護者の方に自宅でのように会話をしているのかお聞きします。お子さんの口の中を見せていただき、舌の動かし方や息の仕方などを見せてもらいます。構音検査、絵カードを使っての発音訓練、教材を用いての会話の練習、保護者の方に会話方法のアドバイスをしています。

#### 言語聴覚士からひとこと

「ことば」は、こどもの成長の中の一側面であり、身体や心などの発達に伴って育っていきます。その基礎を作るのが、早寝早起きといった「規則正しい生活」や「バランスのとれた食事」、身体の発達に沿った「十分な運動」などです。まずは、ご家庭でお子さんとじっくり向き合い、たくさん一緒に遊び、「楽しい時間」を共有してください。そして、お子さんの「伝えたい気持ち」を大切に育ててください。「個別療育」では、ことばに関することで困っているお子さんに対して、「認知」「言語」「コミュニケーション能力」を伸ばすお手伝いをさせていただきます。

### 作業療法士の支援内容

糟屋郡久山町「久山療育園」より、月2回作業療法士の先生に来ていただいています。お子さんの様子を保護者の方からお伺いし、身体の使い方や手指の操作性を高めるための助言・指導をいただいています。こどもの特性や苦手なことを把握し、作業を通して、日常生活や社会的な自立を援助しています。

#### 作業療法士からひとこと

発達には、運動・操作・認知・社会性など、さまざまな領域があります。作業療法士は、それらの要素を遊びの中に取り入れながら、こどもがチャレンジし、楽しめる活動や場面を設定し成長を促していきます。「やりたくない訳ではなくてやり方がわからないだけ」こどもたちの体の使い方や手の使い方を一緒に考え、こどもたちの「できた!!」をサポートしていきます。



作業療法士による、運動指導の様子(線の上を歩いてバランス良く歩けるかを確認しています)

対象 0歳～小学校就学前のこども  
相談日 臨床発達心理士：月8回前後  
言語聴覚士：月4回  
作業療法士：月2回

時間 10時～17時（相談は16時30分まで）  
受付方法 電話で予約してください。  
費用 無料

問い合わせ 町立こども療育センター「すくすく」 宇美町貴船2丁目40-2 ☎934-3933

気になることがあれば、ぜひお気軽に「すくすく」までご相談ください。